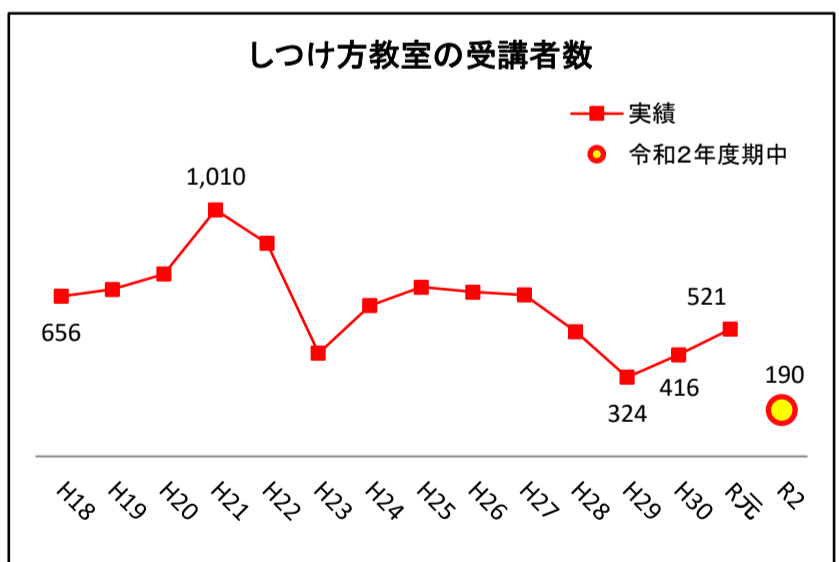
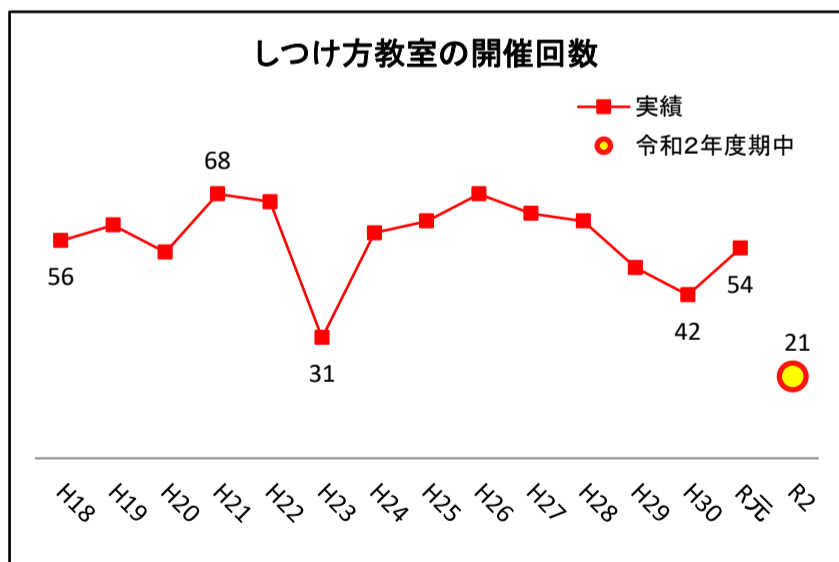


資料2

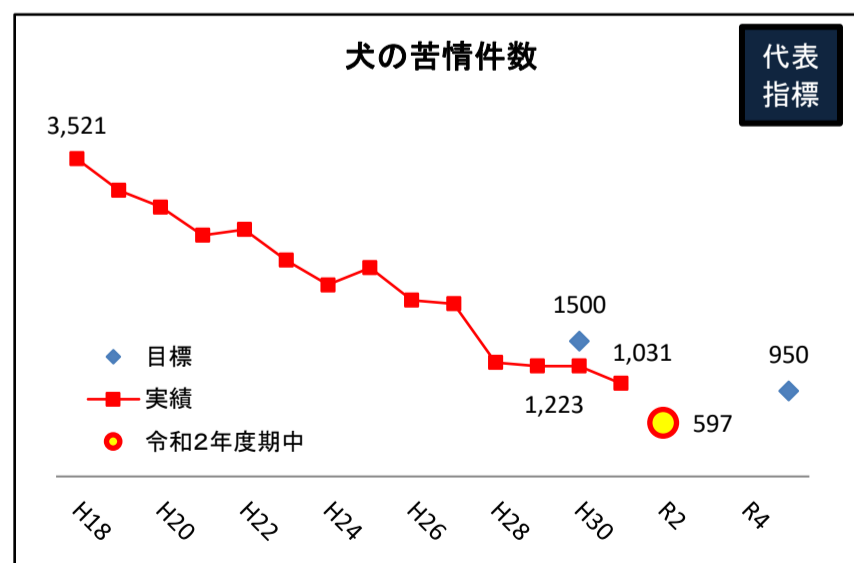
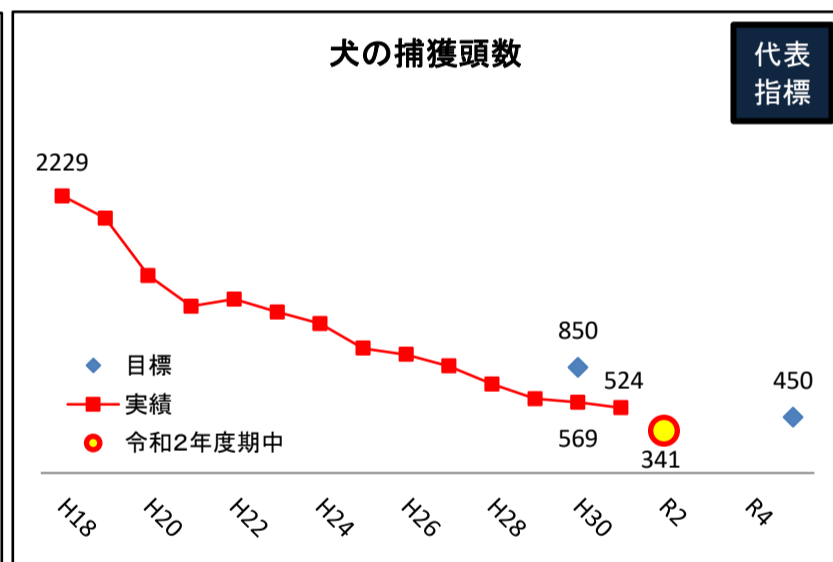
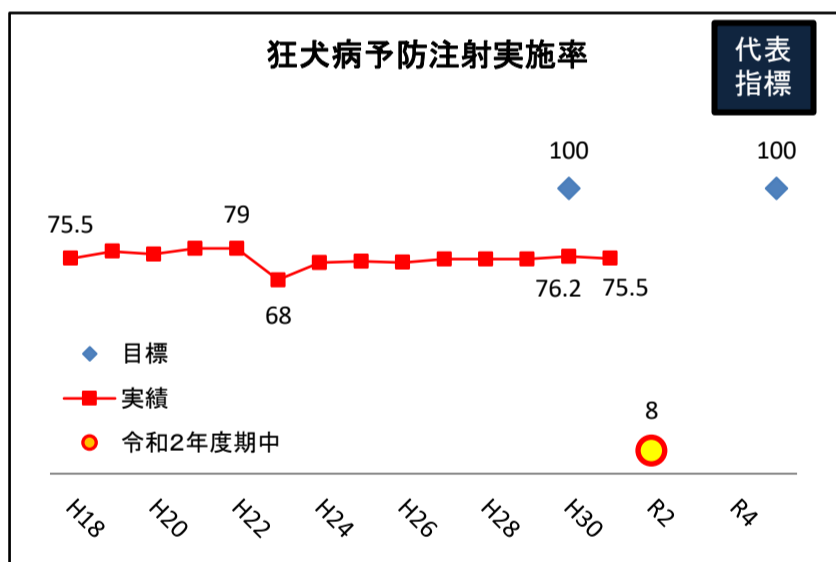
福島県動物愛護管理推進計画の進行管理について

※基準値:H18年度実績

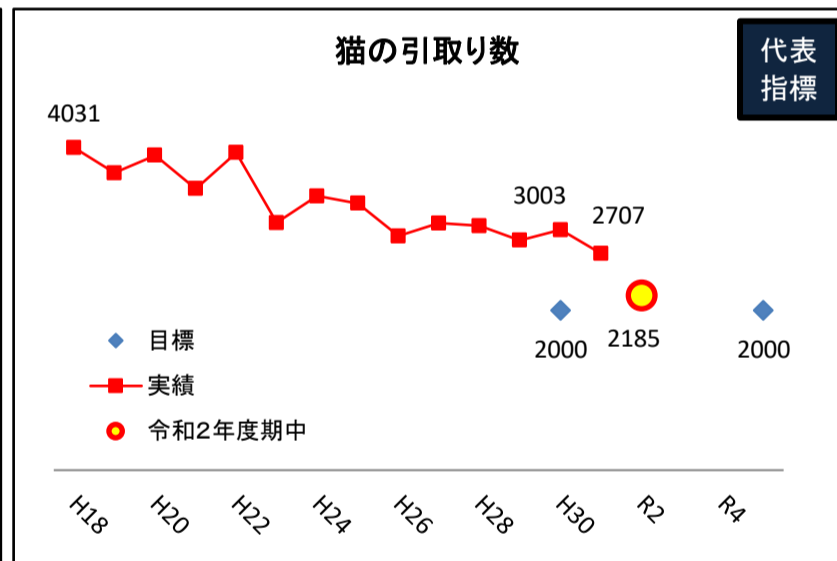
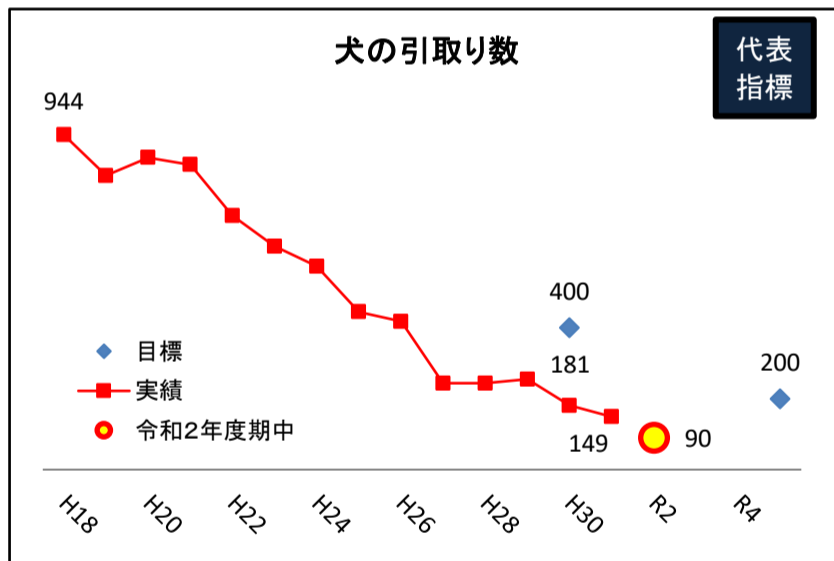
事業名	事業内容				
飼い犬等のしつけ方教室	事業の目的	犬の飼い主にしつけの方法や飼養管理に関する知識等を習得させることにより、人と動物の共生の推進を図る。			
	事業の概要	動物愛護センター(支所を含む)及び中核市保健所において、飼い犬等の生理、習性、適正飼養等に関する学科講習及びデモ型、個別指導型等の実技講習を併せて開催し、人と動物の共生のために必要な知識及び技術の普及啓発を図る。			
	指標の設定	①活動指標: 講習会の開催回数			
		②成果指標: 受講者数			
		基準値	R元年度実績	R2年11月末実績	令和2年度の開催状況
	①活動指標	56回	54回	21回	猫の飼い方講習会 郡山市(2回、18名) 食品生活衛生課(5回、86名)
	②成果指標	656名	521名	190名	
	【令和元年度 事業の実施状況】				
<p>動物愛護センター(支所を含む)及び中核市保健所において開催した飼い犬等のしつけ方教室及び猫の飼い方講座の実績は、次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物愛護センター(学科講習6回、実技講習7回、受講者数 87名) 同会津支所(学科講習5回、実技講習5回、受講者数 66名、猫の講習会: 3回、27名) 同相双支所(学科講習4回、実技講習4回、受講者数 33名) 福島市保健所 実施なし 郡山市保健所(学科講習2回、受講者数 25名、猫の講習会: 3回、27名) いわき市保健所(学科講習5回、実技講習5回、受講者数 125名) 食品生活衛生課(猫の講習会: 5回、127名) 					
施策の方向	<p>当該事業を積極的に推進することにより広く県民の間に飼い犬等の適正飼養に対する関心と理解を深める。</p> <p>また、民間団体による全国調査で猫の飼養匹数が犬の飼養頭数を上回ったと報告されたこと及び県内における猫の引取り匹数が横ばい傾向にあることから、猫の適正飼養について住民に普及啓発する一手法として、今後も引き続き飼い犬等のしつけ方教室を実施するとともに、猫の飼い方講座の開催についても開催する。</p>				



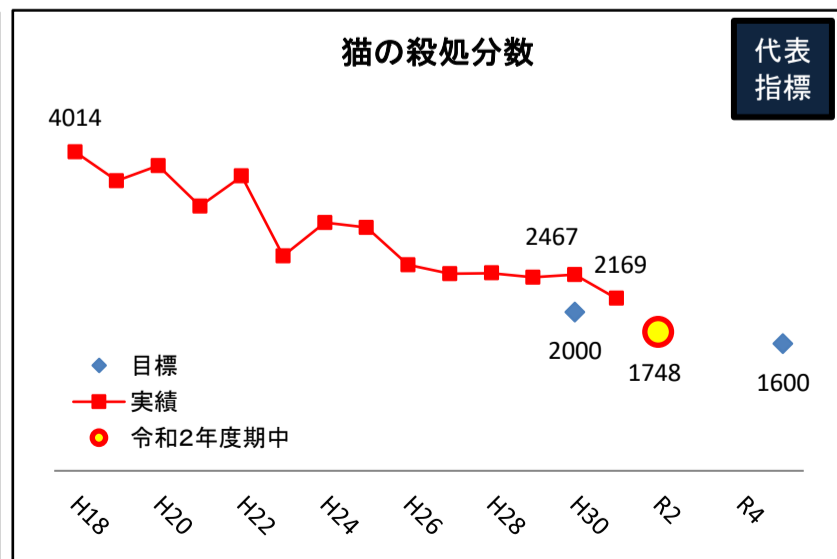
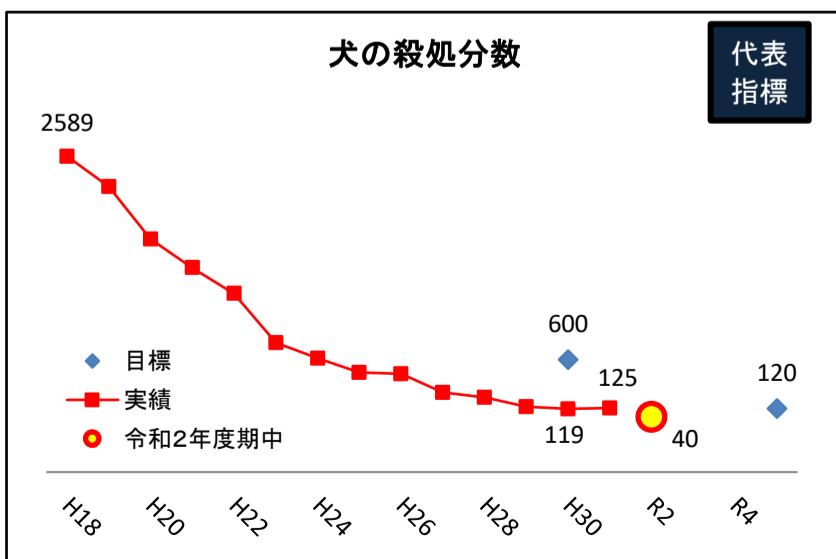
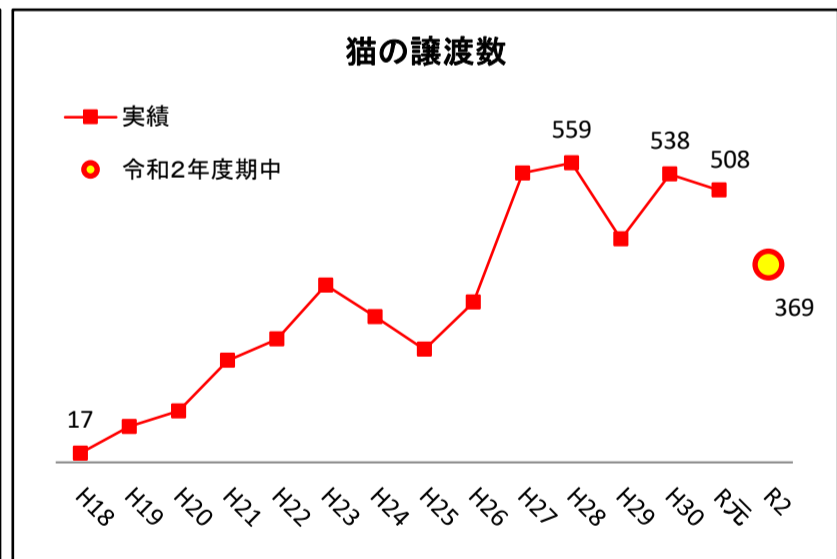
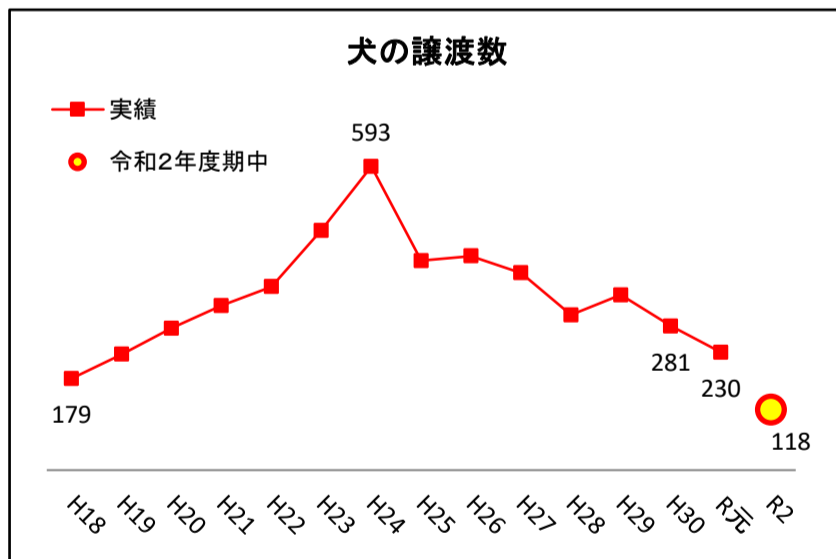
事業名	事業内容					
動物愛護管理強化対策事業	事業の目的	無登録、未注射犬の一掃及び放置犬等の一掃を重点的に行い、安全で安心できる生活環境の確保を図る。				
	事業の概要	市町村と連携して積極的に動物の適正飼養についての情報提供と啓発活動を行うとともに、無登録・未注射犬及び放置犬の一掃を実施する。				
	指標の設定	①代表指標： 狂犬病予防注射実施率				
		②代表指標： 犬の捕獲頭数				
		③代表指標： 犬の苦情件数				
		基準値	R元年度実績	R2年11月末実績	H30年度中間目標	R5年度最終目標
	①代表指標	75%	75.5%	8.0%	100%	100%
	②代表指標	2,229頭	524頭	341頭	850頭以下	450頭以下
	③代表指標	3,521件	1,031件	597件	1,500件以下	950件以下
	【令和元年度 事業の実施状況】					
<p>動物愛護センター（支所を含む）及び中核市保健所において、捕獲抑留した犬の数及び犬に関する苦情対応の実績は次のとおり。</p> <p>動物愛護センター（犬の捕獲頭数 196頭、犬の苦情件数 316件） 同会津支所（犬の捕獲頭数 41頭、犬の苦情件数 115件） 同相双支所（犬の捕獲頭数 53頭、犬の苦情件数 126件） 福島市保健所（犬の捕獲頭数 51頭、犬の苦情件数 55件） 郡山市保健所（犬の捕獲頭数 96頭、犬の苦情件数 177件） いわき市保健所（犬の捕獲頭数 87頭、犬の苦情件数 242件）</p>						
施策の方向	<p>適正飼養や動物愛護に関する啓発用チラシの作成・配布及びホームページの活用等により、飼い犬の適正飼養の啓発を図っていく。</p> <p>また、市町村との連携をより一層深めながら、市町村の広報紙や防災無線等を活用し、啓発活動を実施していく。</p>					



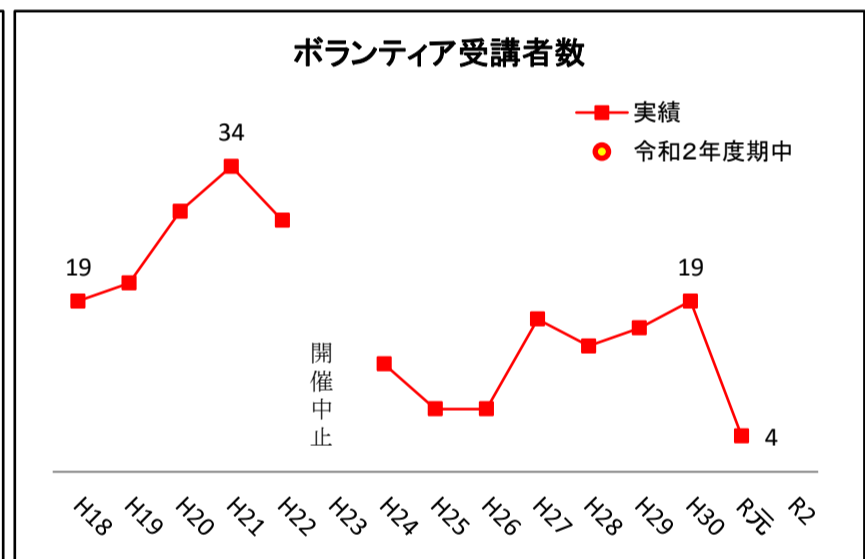
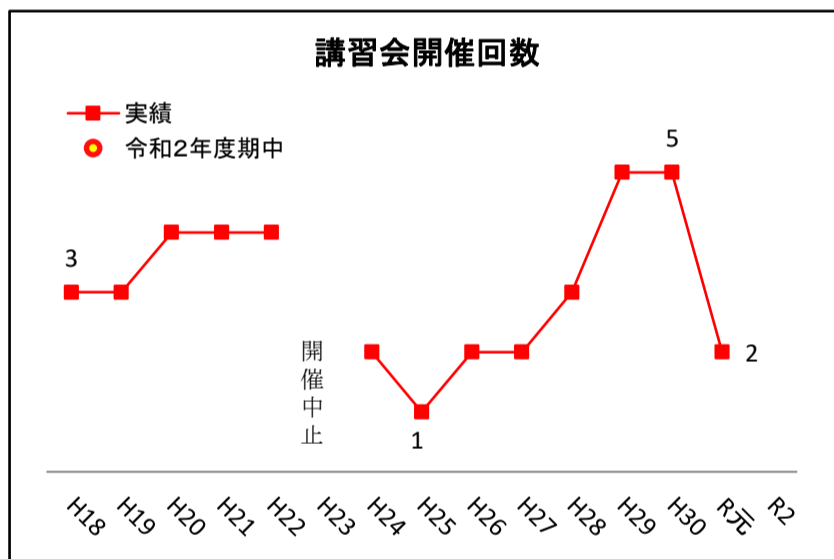
事業名	事業内容					
犬及び猫の引取り事業	事業の目的	動物愛護管理法に基づき、犬及び猫について飼養が困難となった者等から引取りを行う。				
	事業の概要	動物愛護センター(支所を含む)及び中核市保健所において、動物愛護管理法に基づき犬及び猫の引取りを実施する。				
	指標の設定	①代表指標: 犬の引取り数				
		②代表指標: 猫の引取り数				
		基準値	R元年度実績	R2年11月末実績	H30年度中間目標	R5年度最終目標
	①代表指標	944頭	149頭	90頭	400頭以下	200頭以下
	②代表指標	4,031匹	2,707匹	2,185匹	2,000匹以下	2,000匹以下
【令和元年度 事業の実施状況】						
<p>動物愛護センター(同支所を含む)及び中核市保健所が飼い主等から引取った犬及び猫の数は、次のとおり。</p> <p>動物愛護センター(犬の引取り数 79頭、猫の引取り数 970匹) 同会津支所(犬の引取り数 13頭、猫の引取り数 627匹) 同相双支所(犬の引取り数 11頭、猫の引取り数 216匹) 福島市保健所(犬の引取り数 8頭、猫の引取り数 390匹) 郡山市保健所(犬の引取り数 21頭、猫の引取り数 245匹) いわき市保健所(犬の引取り数 17頭、猫の引取り数 259匹)</p>						
施策の方向	市町村や関係団体と連携し、終生飼養の徹底と繁殖制限の必要性について啓発するとともに、引取りを依頼する飼養者に対しては、所有者の責務(終生飼養や繁殖制限措置等)について丁寧に説明・指導し、引取り数の減少を図っていく。					



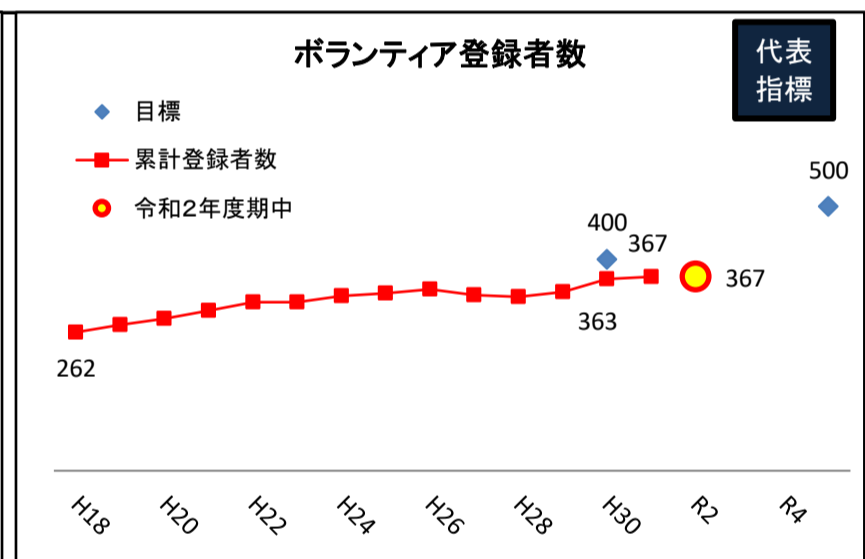
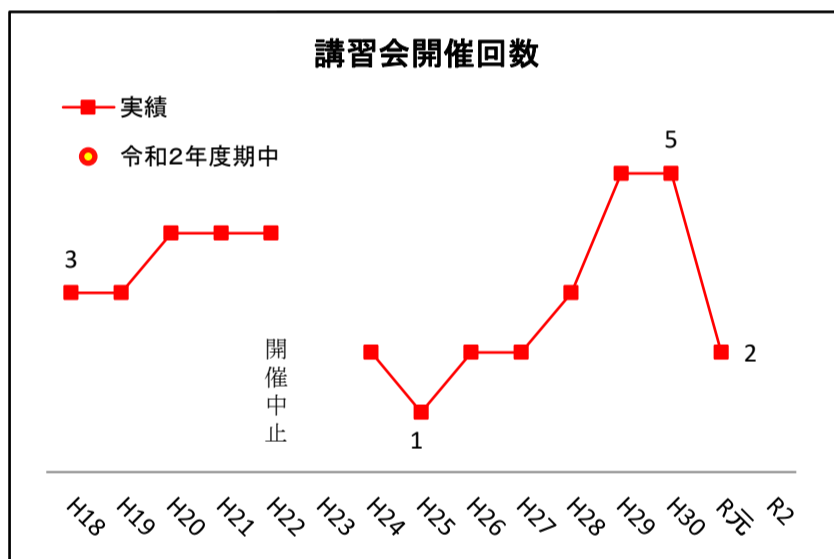
事業名	事業内容					
犬及び猫の譲渡事業	事業の目的	収容動物を希望者に譲渡し処分数を減少させる。				
	事業の概要	動物愛護センター(支所を含む)及び中核市保健所において、犬及び猫の譲渡要領等に基づき適正に譲渡事業を推進するとともに、ホームページを活用して広域的な情報提供に努める。				
	指標の設定	①成果指標: 犬の譲渡数				
		②成果指標: 猫の譲渡数				
		③代表指標: 犬の殺処分数				
		④代表指標: 猫の殺処分数				
		基準値	R元年度実績	R2年11月末実績	H30年度中間目標	R5年度最終目標
	①成果指標	179頭	230頭	118頭		
	②成果指標	17匹	508匹	369匹		
	③代表指標	2,589頭	125頭	40頭	600頭以下	120頭以下
④代表指標	4,014匹	2,169匹	1,748匹	2,000匹以下	1,600匹以下	
【令和元年度 事業の実施状況】						
動物愛護センター(支所を含む)及び中核市保健所が実施した新しい飼い主への犬及び猫の譲渡の実績は、次のとおり。 動物愛護センター(犬 117頭、猫 209匹) 同会津支所(犬 19頭、猫 68匹) 同相双支所(犬 23頭、猫 22匹) 福島市保健所(犬 17頭、猫 60匹) 郡山市保健所(犬 19頭、猫 121匹) いわき市保健所(犬 35頭、猫 28匹) 動物愛護センター(支所を含む)及び中核市保健所における犬及び猫の殺処分数は、次のとおり。 動物愛護センター(犬 77頭、猫 748匹) 同会津支所(犬 11頭、猫 552匹) 同相双支所(犬 9頭、猫 162匹) 福島市保健所(犬 7頭、猫 326匹) 郡山市保健所(犬 17頭、猫 123匹) いわき市保健所(犬 4頭、猫 258匹)						
施策の方向	譲渡会の開催回数を増やすなど、譲渡事業を推進していくとともに、譲り受け者への適正飼養に関する指導・助言の徹底を図っていく。					



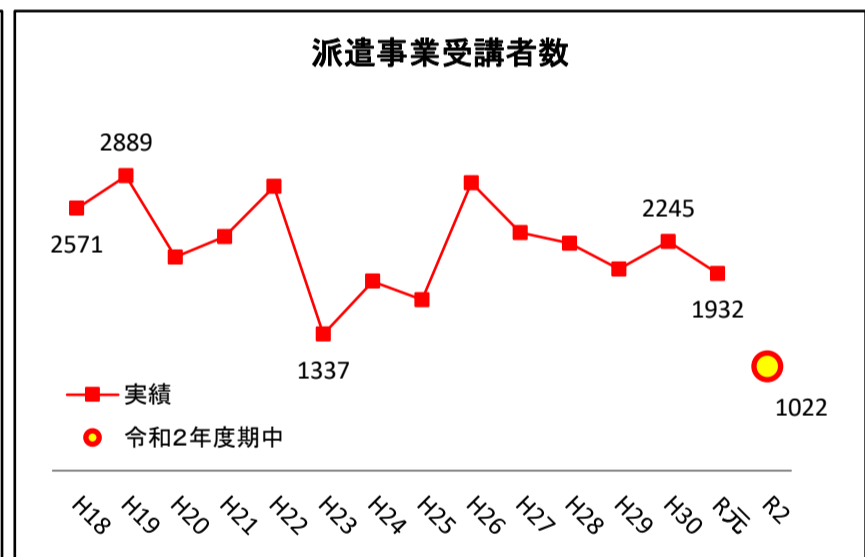
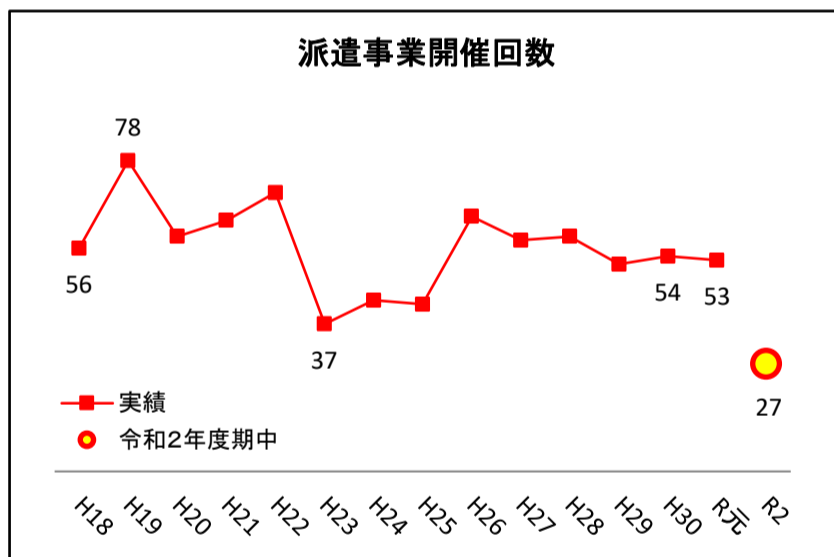
事業名	事業内容				
動物愛護ボランティア養成講習会	事業の目的	地域における動物の愛護と適正飼養等を普及啓発する動物愛護推進ボランティアを養成し、人と動物の共生の推進を図る。			
	事業の概要	動物愛護推進ボランティアを養成するための基礎講習会を開催する。			
	指標の設定	①活動指標： 講習会開催回数			
		②成果指標： 受講者数			
		基準値	R元年度実績	R2年11月末実績	令和2年度の開催状況
	①活動指標	3回	2回	0回	動物愛護センター及び同相双支所管内で、各1回計2回の開催を予定している。
	②成果指標	19名	4名	0名	
	【令和元年度 事業の実施状況】				
動物愛護センター（支所を含む）の養成講習会の開催実績は、次のとおり。 動物愛護センター（2回、4名） ※中核市は当該事業がない。					
施策の方向	新たなボランティアを育成するとともに、福島県登録ボランティアの資質向上のための講習会の開催を検討する。 なお、現行の講習会の内容については、今後、見直しを検討していく。				



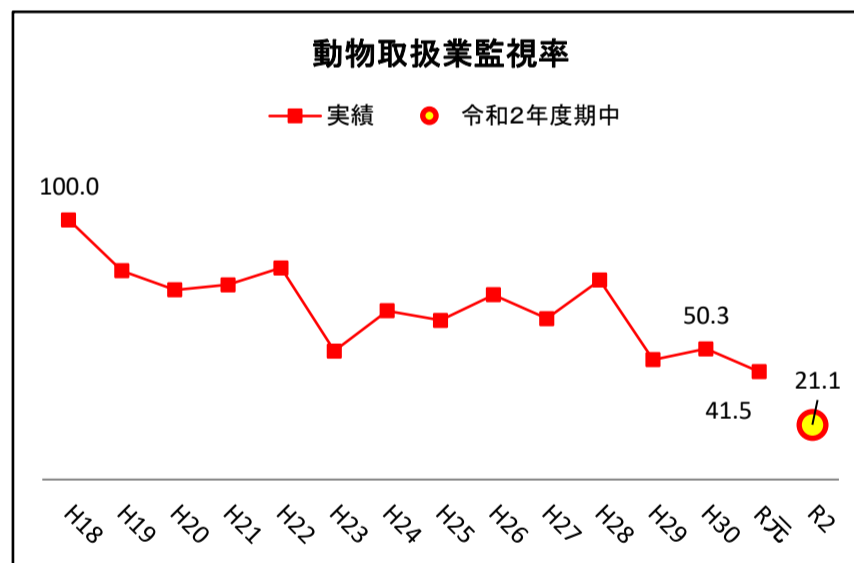
事業名	事業内容					
動物愛護ボランティア登録	事業の目的	ボランティアとの連携を図るため、ボランティアの登録を推進する。				
	事業の概要	動物愛護推進ボランティア育成講習会受講者に対し、県で行う動物愛護推進事業及び行政との協働についての説明を行い登録者を募る。				
	指標の設定	①活動指標： 講習会開催回数				
		②代表指標： 動物愛護ボランティア登録者数				
		基準値	R元年度実績	R2年11月末実績	H30年度中間目標	R5年度最終目標
	①活動指標	3回	2回	0回		
	②代表指標	262名	367名	367名	400名	500名
	【令和元年度 事業の実施状況】					
<p>動物愛護センター（支所を含む）における新規登録者4名の内訳は、次のとおり。 動物愛護センター（4名）</p> <p>※中核市は当該事業がない。</p>						
施策の方向	<p>引き続き講習会時に協働事業の説明を行っていくが、一方的な施策とならないよう需要と供給のバランスを見極めながら事業の方向性及び事業の継続等について検討していく。</p> <p>また、各地区動物愛護ボランティア会の活動状況及び要望等についても把握し、必要な支援を行っていく。</p>					



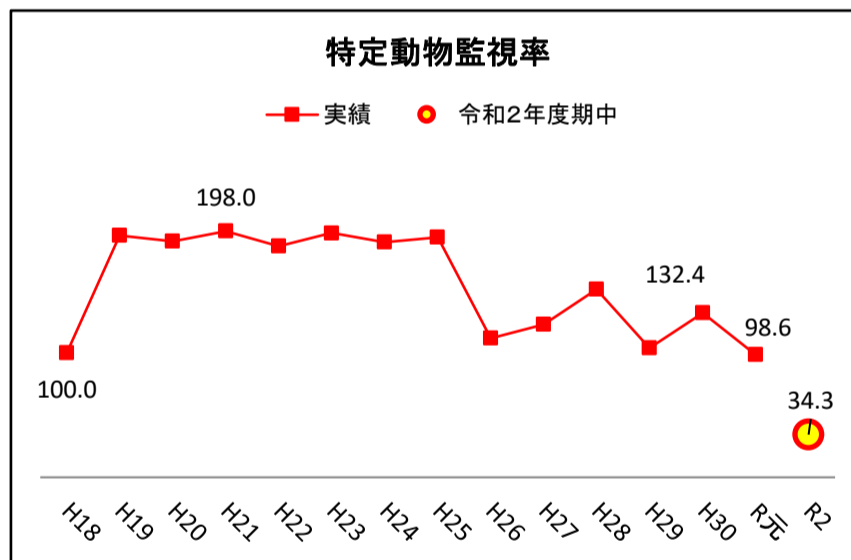
事業名	事業内容			
小学校への 獣医師派遣事業	事業の目的	児童期からの動物愛護教育の充実を図る。		
	事業の概要	動物愛護センター(支所を含む)の獣医師を小学校に派遣し、学校で飼育している動物や犬等の身近な動物の正しい飼い方等について、パワーポイントや実際に動物を活用した触れ合い体験学習等(座学及び触れ合い)を実施する。		
	指標の設定	①活動指標: 開催回数		
		②成果指標: 獣医師派遣事業受講者数		
		基準値	R元年度 実績	R2年11月末 実績
	①活動指標	56回	53回	27回
	②成果指標	2,571名	1,932名	1,022名
【令和元年度 事業の実施状況】				
<p>動物愛護センター(支所を含む)が行った派遣事業の実績は、次のとおり。</p> <p>動物愛護センター(延実施回数 30回、受講者数 1,103名)</p> <p>同会津支所(延実施回数 17回、受講者数 568名)</p> <p>同相双支所(延実施回数 1回、受講者数 7名)</p> <p>福島市保健所 (延実施回数 5回、受講者数 254名)</p> <p>※郡山市及びいわき市は当該事業がない。</p>				
施策の方向	児童期からの動物愛護教育は、生命尊重や友愛の気風を醸成するうえで大変重要であることから、今後も引き続き動物福祉にも配慮しながら当該事業を継続していく。			



事業名	事業内容					
動物取扱業者に対する監視指導	事業の目的	動物取扱業者に対し、動物愛護管理法に定める基準に合致しているか、また、展示動物等の飼養及び保管に関する基準が遵守されているか等を監視指導することにより、展示動物等の健康及び安全を保持するとともに、周辺的生活環境の保全を図る。				
	事業の概要	動物愛護管理対策強化期間において、重点的に動物取扱業者に対する立入指導を実施し、動物愛護管理法で定める基準の遵守状況等について調査する。				
	指標の設定	①活動指標： 監視率				
		②代表指標： 動物取扱業施設における違反件数				
		基準値	R元年度実績	R2年11月末実績	H30年度中間目標	R5年度最終目標
	①活動指標	100%	41.5%	21.1%		
	②代表指標	0件	0件	0件	0件	0件
	【令和元年度 事業の実施状況】					
	動物取扱業施設の監視指導実績内訳 対象施設：第一種 576施設、第二種 22施設 立入施設：第一種 241施設、第二種 7施設 動物愛護センター（対象施設数 141施設、延監視施設数 56施設、監視率 39.7%） 同会津支所（対象施設数 63施設、延監視施設数 50施設、監視率 79.4%） 同相双支所（対象施設数 43施設、延監視施設数 16施設、監視率 37.2%） 福島市保健所（対象施設数 107施設、延監視施設数 28施設、監視率 26.2%） 郡山市保健所（対象施設数 109施設、延監視施設数 51施設、監視率 46.8%） いわき市保健所（対象施設数 135施設、延監視施設数 47施設、監視率 34.8%）					
	施策の方向	動物の健康及び安全の保持並びに生活環境の保全を図るため、計画的に動物取扱業者の立入検査を行い、動物の適切な管理が徹底されるよう指導する。				



事業名	事業内容					
特定動物飼養者 に対する 監視指導	事業の目的	特定動物(危険な動物)飼養者に対する監視指導を実施し、特定動物による人の生命、身体又は財産に対する侵害の防止を図る。				
	事業の概要	動物愛護センター(支所を含む)及び中核市保健所において、人の生命、身体又は財産に対する安全確保及び動物愛護の観点から定期的な施設の立入検査を実施する。				
	指標の設定	①活動指標: 監視率				
		②代表指標: 特定動物飼養施設における違反件数				
		基準値	R元年度 実績	R2年11月末 実績	H30年度 中間目標	R5年度 最終目標
	①活動指標	100%	98.6%	34.3%		
	②代表指標	0件	0件	0件	0件	0件
【令和元年度 事業の実施状況】						
監視指導実績内訳 対象施設数 70施設、延監視施設数 69施設 動物愛護センター(対象施設数 53施設、延監視施設数 57施設、監視率 107.5%) 同会津支所(対象施設数 7施設、延監視施設数 7施設、監視率 100.0%) 福島市保健所(対象施設数 2施設、延監視施設数 1施設、監視率 50.0%) 郡山市保健所(対象施設数 3施設、延監視施設数 4施設、監視率 133.3%) いわき市保健所(対象施設数 5施設、延監視施設数 0施設、監視率 0%) ※同相双支所については、当該施設がない。						
施策の方向	引き続き特定動物飼養施設に対する立入検査を実施し、特定動物による人の生命、身体又は財産に対する侵害の防止を図る。					



事業名	事業内容				
動物取扱責任者 研修事業	事業の目的	動物を取り扱う専門家としての自覚の醸成と社会的責任を果たせるように、毎年、動物取扱責任者を対象とした研修会を開催し、動物取扱業者全体の資質向上を図る。			
	事業の概要	動物愛護センター(支所を含む)及び中核市保健所において、動物取扱責任者を対象に動物愛護管理法や業務の実施に関する項目等についての研修会を実施する。			
	指標の設定	①活動指標: 開催回数			
		②成果指標: 受講率			
		基準値	R元年度実績	R2年11月末実績	令和2年度の開催状況
	①活動指標	8回	9回	0回	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催を中止した。
	②成果指標	72.0%	90.0%	0.0%	
【令和元年度 事業の実施状況】					
研修の実績内訳 受講対象者数 567施設、受講者数 513施設 動物愛護センター(対象者数 135施設、受講者数 112施設、受講率 83.0%) 同会津支所(対象者数 57施設、受講者数 51施設、受講率 89.5%) 同相双支所(対象者数 36施設、受講者数 30施設、受講率 83.3%) 福島市保健所(対象者数 99施設、受講者数 86施設、受講率 86.9%) 郡山市保健所(対象者数 109施設、受講者数 109施設、受講率 100.0%) いわき市保健所(対象者数 131施設、受講者数 125施設、受講率 95.4%)					
施策の方向	今年度については、研修会の開催を中止したことから、法の改正内容等に関する資料を動物取扱責任者に送付し周知を図る。 来年度については、新型コロナウイルス感染症の流行状況をみながら、研修会の実施について判断する。				

